

## IV 検査情報





## 検査情報

### 1. ウイルス検査情報（大阪府・大阪市・堺市）

#### 1) 2017（平成 29）年検出ウイルス

2017年1月から12月の間に大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課（2017年4月～大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課）、大阪市立環境科学研究所調査研究課微生物保健グループ（2017年4月～大阪健康安全基盤研究所微生物部微生物課）、堺市衛生研究所微生物グループにおいて検査を行った検体総数は2,297件であり、うちウイルスを検出した陽性検体数は1,200件で、陽性率52.2%であった。2016年に比べて検体数は3,169件から2,297件に27.5%減少したが、陽性率は40.0%から52.2%に増加した。ウイルスの検出総数は2016年の1,320例に比べて1,264例と4.2%減少した。

#### (1) 月別ウイルス検出数

表1に2017年に大阪府・大阪市・堺市で検出されたウイルスを月別に示す。

年間で最も多く検出されたウイルスはインフルエンザウイルス410例であり、次いでエンテロウイルス251例、アデノウイルス126例、ライノウイルス93例、RSウイルス89例、ノロウイルス66例、ロタウイルス43例、ヒトメタニューモウイルス26例、パラインフルエンザウイルス25例の順であった（表1）。

インフルエンザウイルスの中では、AH3（香港）亜型が293例と最も多く、ほとんどが1月から4月の期間に検出された（92.5%、271/293）（図1）。次いでB型が61例、AH1pdm09が52例であった。B型は8月および9月を除くすべての月に検出され、12月（23例）が最も多く、次いで3月（13例）であった。AH1pdm09は12月（25例）に最も多く検出された。C型が4月に1例検出された。

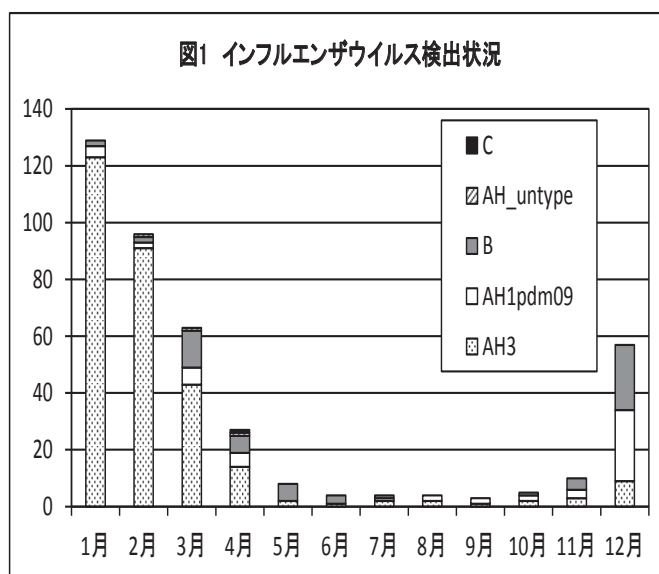
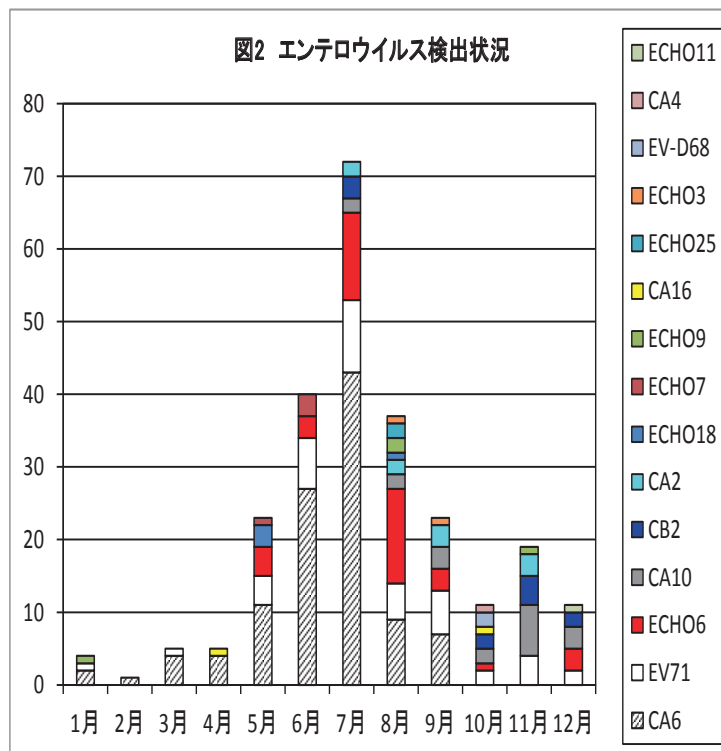


表1 月別ウイルス検出数 (2017.1～12)

表1 月別ウイルス検出数 (2017.1～12)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
adeno virus untype			1										1
adeno virus1		2	2	3	2	2		2					13
adeno virus11								1					1
adeno virus19/64						2		1					3
adeno virus2	3	7	2	7	11	8	8		2	2		3	53
adeno virus3		2	2	1	1	1	2	3	3	3	1		19
adeno virus31					1								1
adeno virus37					2				1				3
adeno virus40/41	1	3	3	2	4	4						2	19
adeno virus5				2	1	1	3						7
adeno virus54	3								1	1		1	6
HCoV-HKU1												1	1
HCoV-NL63	1	1					1						3
HCoV-OC43	1	1	2										4
humanmetapneumo virus	1	4	8	7	3		1	1	1				26
RSA	5	1		2	1	3	7	19	10	6	5	2	61
RSB	3	1	5	3			3	7	2	1	2	1	28
influenza virus AH untype		1	1	1									3
influenza virus AH1pdm09	4	2	6	5			1	2	2	2	3	25	52
influenza virus AH3	123	91	43	14	2	1	2	2	1	2	3	9	293
influenza virus B	1		3	2	2					1	3	8	20
influenza virus B Victoria		2	6		2	1							11
influenza virus B Yamagata	1		4	4	2	2	1				1	15	30
influenza virus C				1									1
human boca virus			1	2	2		1						6
parainfluenza virus1							2		2	3	2		9
parainfluenza virus2						1		2		1			4
parainfluenza virus3						6	4						10
parainfluenza virus4								1		1			2
Rhino untype	4	4	8	7	4	10	5	9	7	10	3	3	74
RhinoA	3	2		1	1	2							9
RhinoB					1								1
RhinoC		1	2		1	2		1	1		1		9
coxckie virusA2							2	2	3		3		10
coxckie virusA4										1			1
coxckie virusA6	2	1	4	4	11	27	43	9	7				108
coxckie virusA10							2	2	3	2	7	3	19
coxckie virusA16				1						1			2
coxckie virusB2							3			2	4	2	11
echo virus3								1	1				2
echo virus6					4	3	12	13	3	1		3	39
echo virus7					1	3							4
echo virus9	1							2			1		4
echo virus11												1	1
echo virus18					3			1					4
echo virus25								2					2
human parecho virus untype					1				1	1			3
human parecho virus1									1	1			2
human parecho virus3									3				3
EV-D68										2			2
EV71	1		1		4	7	10	5	6	2	4	2	42
heptitisA virus		2		1			1						4
noro virus1-1							1						1
noro virus1-2								1					1
noro virus1-3									1				1
noro virus1-4			1										1
noro virus2 untype					2	3	1				1	6	12
noro virus2-2	1	2		1			1					1	6
noro virus2-3			1	3	1	2							7
noro virus2-4		2	2	1	1	12	2	3	2		3	6	34
noro virus2-6	1	1											2
sapo virusG1			1	1	1							1	4
sapo virusG2			1								1		2
sapo virusG4					1				1				2
astro virus type1		1	2	3	3	3							12
astro virus type3					1								1
astro virus type4					1								1
rota virusA untype		1	1	2	5								9
rota virusAG1				1		1							2
rota virusAG2		1	1	4									6
rota virusAG3			3	8	5								16
rota virusAG8				1			1						2
rota virusAG9				6	1	1							8
chikungunya virus	1												1
dengue virus1							1	1	1		1		4
dengue virus2	3	1			1		1					1	7
dengue virus3			1								1		2
dengue virus4										1			1
herpes simplex virus-1	3	1		1		1						1	7
human herpes virus6 untype					2								2
human herpes virus6B	1	1			1	1		1		1	2	3	11
human herpes virus7		1						1	1				3
vaicella zoster virus	1		1		2			2	1	1	2		10
measles untype				1									1
measlesD8				15									15
Mumps genotypeG	3	1	3	2	2	1	1	2					15
Mumps untype	1	3											4
Rubella 1E										1			1
Rubella untype									3				3
計	173	144	122	120	97	111	123	99	71	50	54	100	1264

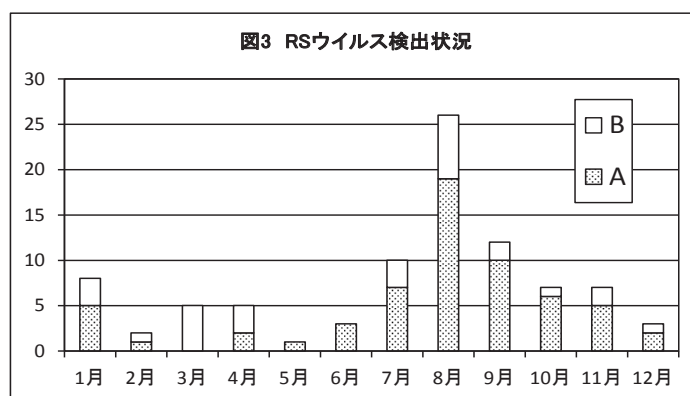
エンテロウイルスは7月に72例と最も多く、次いで6月40例、8月37例、5月、9月各23例であり、5月から9月の5カ月間に77.7% (195/251) 検出された。エンテロウイルスの中では、コクサッキーウイルスA 6型が108例と多く、主に7月(43例)および6月(27例)に検出された。次いでエンテロウイルス71型が42例であり、主に5月から12月(40例)に検出された。また、他にエコーウイルス6型39例、コクサッキーウイルスA 10型19例、B2型11例、A2型10例も多かった。ポリオウイルスは検出されなかった(図2)。



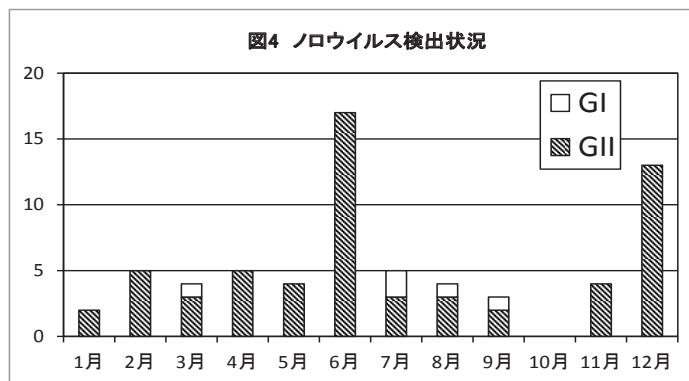
アデノウイルスはすべての月で検出され、5月に22例と最も多く検出された。2型が53例と最も多く、次いで3型および40/41型が19例、1型が13例であり、少なくとも10種類の型が認められた。

ライノウイルスは年間を通して検出され、6月が14例と最も多く、次いで3月、8月、10月各10例であった。最も検出数が少なかったのは12月3例であった。

RSウイルスは年間を通して検出され、8月が26例と最も多く、次いで9月12例、7月10例であった。A型は61例、B型は28例であった(図3)。

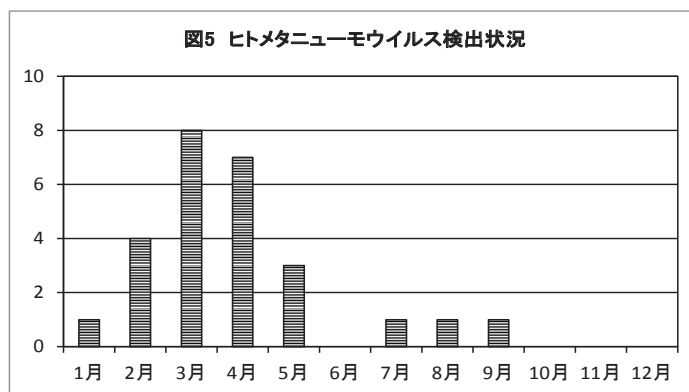


ノロウイルスはG II 61例が10月を除くすべての月に検出され、6月17例、12月13例であった。G Iは5例であった(図4)。



ロタウイルスはすべてA群であった。2月から7月の期間に検出され、4月22例が最も多く、次いで5月11例であった。

ヒトメタニューモウイルスは26例検出され、3月8例が最も多く、2月から5月の期間に22例(84.6%)検出された。(図5)



パラインフルエンザウイルスは6月から11月の期間に検出され、3型が10例と最も多く、次いで1型9例であった。

ムンプスウイルスは1月から8月の期間に19例検出され、15例(78.9%)がG型であった。

麻疹ウイルスは4月のみに16例検出された。遺伝子型別された15例すべてがD8型であった。

月別のウイルス検出数では、1月173例が最も多く、次いで2月144例、7月123例、3月122例、4月120例であった。1月(129例)、2月(96例)および3月(63例)はインフルエンザウイルスが最も多く、7月はエンテロウイルス(72例)が最も多かった。

## (2) 年齢群別ウイルス検出数(表2)

年齢群別で最も多くウイルスが検出されたのは1歳の296例であった。次いで1歳未満の245例、15歳以上の244例と続いた。

1歳で最も多く検出されたウイルスはエンテロウイルス74例であり、主にコクサッキーウイルスA6型51例であった。次いでアデノウイルス55例、RSウイルス38例、ライノウイルス32例、ノロウイルス25例、インフルエンザウイルス23例、ロタウイルス

12例であった。

1歳未満で最も多く検出されたウイルスはエンテロウイルスの79例であり、主にコクサッキーウイルス A6型 28例、エコーウイルス 6型、エンテロウイルス 71型各 13例であった。次いでアデノウイルス 34例、RSウイルス 26例、ライノウイルス 25例、ノロウイルス 23例であった。

15歳以上で最も多く検出されたウイルスはインフルエンザウイルス 187例であった。麻疹ウイルス、風しんウイルス、チクングニアウイルスは15歳以上の年齢群のみで検出された。デングウイルスのほとんどは15歳以上の年齢群から検出された。

## 2) 月別・疾患別検体数とウイルス陽性例数

### (1) ウイルス陽性率 (表 3)

2017年の検体総数は2,297件、うちウイルスを検出した陽性検体は1,200件、陽性率52.2%であった。

### (2) 月別・疾患別検体数およびウイルス陽性数 (表 3)

検体数の多かった月は1月の248件(構成比10.8%、248/2,297)であり、次いで4月242件(10.5%)、2月228件(9.9%)、6月211件(9.2%)、3月、5月各209件(9.1%)の順であった。

1月はインフルエンザが154件で最も多く、この月の検査数の62.1%(154/248)を占めており、次いで無菌性髄膜炎15件(6.0%)であった。4月は麻疹76件(31.4%、76/242)が最も多く、次いでインフルエンザ、感染性胃腸炎各39件(16.1%)であった。2月はインフルエンザ122件(53.5%、122/228)が最も多く、次いで麻疹21件(9.2%)、感染性胃腸炎19件(8.3%)であった。6月は感染性胃腸炎53件(25.1%、53/211)が最も多く、次いで手足口病37件(17.5%)、無菌性髄膜炎24件(11.4%)、インフルエンザ22件(10.4%)であった。

月別ウイルス陽性率は、1月68.1%(169/248)が最も高く、次いで2月61.0%(139/228)、7月60.3%(117/194)、3月56.9%(119/209)であった。

1月および2月に陽性率が高いのは陽性率の高いインフルエンザ検体(1月 陽性率87.7%、135/154、2月 82.9%、101/122)の割合が高かったことによるものである。7月は口内炎・上気道炎検体(100%、6/6)、RSウイルス感染症検体(91.7%、11/12)、下気道炎検体(90.0%、9/10)、手足口病検体(85.4%、41/48)、咽頭結膜熱検体(83.3%、10/12)、ヘルパンギーナ検体(66.7%、6/9)と高い陽性率の疾患検体の割合が高かった。



表2 年齢別ウイルス検出数 (2017.1～12)

表2 年齢別ウイルス検出数 (2017.1～12)

年齢(歳)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15歳以上	不明	計
adeno virus untype						1								1
adeno virus1	2	8	2	1										13
adeno virus11												1		1
adeno virus19/64												3		3
adeno virus2	17	30	3	1							2			53
adeno virus3	1	8	1	3	3	1	1					1		19
adeno virus31	1													1
adeno virus37												3		3
adeno virus40/41	8	5	2			1	1			1	1			19
adeno virus5	3	3		1										7
adeno virus54	2	1		1								2		6
HCoV-HKU1		1												1
Hcov-NL63	1		1		1									3
Hcov-OC43	2	1				1								4
humanmetapneumo virus	6	7	6	3	2						2			26
RSA	17	27	10	3	1	2							1	61
RSB	9	11	4	3								1		28
influenza virus_AH untype				1			1					1		3
influenza virus_AH1pdm09	2	3	2	3	5	1	3	4	3	2	6	17	1	52
influenza virus_AH3	11	19	5	8	14	11	9	12	2	10	43	149		293
influenza virus_B	1		2				1	1	3		6	6		20
influenza virus_B_Victoria			1		1	1	3	1	1	1	3	3		11
influenza virus_B_Yamagata			1			2	3	2	2	5	4	11		30
influenza virus_C		1												1
human boca virus	1	4	1											6
parainfluenza virus1	3	2	1			2					1			9
parainfluenza virus2	1	1	2											4
parainfluenza virus3	2	1	4			2					1			10
parainfluenza virus4		2												2
Rhino untype	23	23	9	4	3	4	1	1		1	5			74
RhinoA	1	5	1			1					1			9
RhinoB				1										1
RhinoC	1	4	2			1					1			9
coxsackie virusA2	3	3	1	1		1	1							10
coxsackie virusA4										1				1
coxsackie virusA6	28	51	16	4	2	4	1				2			108
coxsackie virusA10	2	7	4	2		2			1		1			19
coxsackie virusA16		1		1										2
coxsackie virusB2	11													11
echo virus3	1	1												2
echo virus6	13	2	1	6			2	5	5	1	4			39
echo virus7	2	2												4
echo virus9	1	1		1								1		4
echo virus11	1													1
echo virus18	4													4
echo virus25				2										2
human parecho virus untype	1	2												3
human parecho virus1	1	1												2
human parecho virus3	3													3
EV-D68		2												2
EV71	13	4	6	3	6	4	1			1	3	1		42
heptitisA virus											1	3		4
noro virus1-1	1													1
noro virus1-2	1													1
noro virus1-3							1							1
noro virus1-4	1			1										2
noro virus2 untype	5	3	1	1		1						1		12
noro virus2-2	2	3								1				6
noro virus2-3	4	2									1			7
noro virus2-4	9	16	6	1	1	1								34
noro virus2-6		1		1										2
sapo virusG1	2				1						1			4
sapo virusG2					1		1							2
sapo virusG4						1						1		2
astro virus type1	7	3	1			1								12
astro virus type3			1											1
astro virus type4					1									1
rota virusA untype	2	2			3				1			1		9
rota virusAG1	1	1												2
rota virusAG2		1	3	2										6
rota virusAG3	1	5	4	4	1	1								16
rota virusAG8	1	1												2
rota virusAG9	1	2	2	1		1	1							8
chikungunya virus												1		1
dengue virus1												4		4
dengue virus2		1										6		7
dengue virus3												2		2
dengue virus4												1		1
herpes simplex virus-1	2	1	1		1						2			7
human herpes virus6 untype		2												2
human herpes virus6B	5	5	1											11
human herpes virus7		1	1	1										3
varicella zoster virus		1	2				1	2	1		1	2		10
measles untype												1		1
measlesD8												15		15
Mumps_genotypeG	1	1			1		1	1	1	3	6			15
Mumps untype			1				1		1	1				4
Rubella 1E												1		1
Rubella untype												3		3
計	245	296	112	65	48	48	34	28	21	28	93	244	2	1264

## (3) 疾患別検体数およびウイルス陽性率 (表 3)

疾患別検体数はインフルエンザ 614 件 (構成比 26.7%、614/2,297) が最も多く、以下、感染性胃腸炎 262 件 (11.4%)、麻しん 235 件 (10.2%)、無菌性髄膜炎 204 件 (8.9%)、手足口病 170 件 (7.4%) であった。その他の検体も 249 件 (10.8%) と多かった。

インフルエンザは 1 月の検体が 154 件 (構成比 25.1%、154/614) と最も多く、次いで 2 月 122 件 (19.9%)、3 月 100 件 (16.3%)、12 月 84 件 (13.7%) であった。検出されたウイルスは A H 3 (香港) 亜型が 292 件と最も多く、次いで B 型が 61 件、AH1pdm09 が 52 件であった。他にライノウイルス 21 件、ヒトメタニューモウイルス 8 件、アデノウイルス、RS ウイルス、エンテロウイルス各 7 件などが検出された。

感染性胃腸炎は 6 月の検体が 53 件 (構成比 20.2%、53/262) と最も多く、次いで 5 月 40 件 (15.3%)、4 月 39 件 (14.9%)、3 月 28 件 (10.7%)、12 月 22 件 (8.4%) であった。検出されたウイルスはノロウイルスが 58 件 (37.4%、58/155)、うち G II 型 57 件が最も多く検出された。次いで、ロタウイルス A が 42 件 (27.1%)、アデノウイルスが 32 件 (20.6%) であった。他にアストロウイルス 14 件、サポウイルス 8 件、エンテロウイルス 4 件などが検出された。

麻しんは 4 月の検体が 76 件 (構成比 32.3%、76/235) と最も多く、次いで 5 月 45 件 (19.1%)、2 月 21 件 (8.9%)、6 月 20 件 (8.5%) であった。ウイルスが検出されたのは 21 件であり、麻しんウイルスは 16 件であった。遺伝子型別された 15 件すべてが D8 型であった。他に風疹ウイルスが 3 件、ヒトヘルペスウイルス 6 型が 2 件検出された。

無菌性髄膜炎の検体数が多い月は 8 月の検体が 38 件 (構成比 18.6%、38/204) と最も多く、次いで 6 月、7 月各 24 件 (11.8%) であり、5 月 21 件 (10.3%)、11 月 20 件 (9.8%) の順であった。検出されたウイルスはエンテロウイルスが 47 件で、検出ウイルスの 78.3% (47/60) を占め、うちエコーウイルス 6 型が 26 件、コクサッキーウイルス B 2 型、エンテロウイルス 7 1 型各 8 件であった。次いでムンプスウイルス 5 件 (8.3%) であった。

手足口病は 7 月の検体が 48 件 (構成比 28.2%、48/170) と最も多く、次いで 6 月 37 件 (21.8%)、5 月 22 件 (12.9%) と 5 月から 7 月の検体数で年間検体数の 62.9% (107/170) を占めた。検出されたウイルスはエンテロウイルスが 129 件で 94.2% (129/137) を占め、うちコクサッキーウイルス A6 型が 90 件 (69.8%、90/129)、エンテロウイルス 7 1 型が 26 件 (20.2%) であった。

疾患別検体のウイルス陽性率はRSウイルス感染症（80.9%、76/94）が最も高く、次いで手足口病（80.6%、137/170）、インフルエンザ（74.1%、455/614）、咽頭結膜熱（72.2%、57/79）、水痘（66.7%、10/15）、流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎（63.2%、12/19）、ヘルパンギーナ（62.1%、41/66）の順であった。また、下気道炎（59.6%、56/94）、感染性胃腸炎（59.2%、155/262）、口内炎・上気道炎（57.4%、31/54）も50%以上の陽性率であった。

手足口病、インフルエンザおよび感染性胃腸炎から検出されたウイルスについては前記のとおりである。RSウイルス感染症では陽性検体76件中、RSウイルス61件（80.3%）が最も多く、次いでライノウイルス10件であった。咽頭結膜熱では陽性検体57件中、アデノウイルスが51件（89.5%）であり、2型28件が最も多く、次いで3型12件、1型9件であった。水痘では陽性検体すべてから水痘・帯状疱疹ウイルスが検出された。流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎では陽性検体12件すべてがアデノウイルスであり、19/64型、37型、54型各3件、3型2件、11型1件であった。ヘルパンギーナではエンテロウイルス29件（70.7%、29/41）が最も多く、主にコクサッキーウイルスA10型11件、A6型8件、A2型7件であった。下気道炎では陽性検体56件中、ライノウイルス23件（41.1%）が最も多く、次いでヒトメタニューモウイルス10件であった。口内炎・上気道炎ではライノウイルス10件（32.3%、10/31）が最も多く、次いでパラインフルエンザウイルス7件であった。

一方、陽性率の低い疾患は脳症・脳脊髄炎（5.2%、5/96）、麻しん（8.9%、21/235）であった。

### 3) 検体の種類別および各疾患における検体別ウイルス陽性率（表4）

#### (1) 検体の種類別

検体の種類別では咽頭拭い液1,023件（構成比44.5%、1,023/2,297）が最も検体数が多かった。以下、便・直腸拭い液425件（18.5%）、鼻汁・鼻腔拭い液222件（9.7%）、髄液193件（8.4%）、血液・血清158件（6.9%）、うがい液128件（5.6%）の順であった。検体数が少なかった検体（皮膚拭い液・水疱）を除いたウイルス陽性率は、うがい液65.6%（84/128）で最も高かった。次いで、咽頭拭い液64.0%（655/1,023）、鼻汁・鼻腔拭い液59.9%（133/222）、結膜拭い液57.9%（11/19）、便・直腸拭い液53.6%（228/425）、喀痰・気管吸引液52.2%（12/23）であった。髄液は無菌性髄膜炎と診断さ

れた患者検体の主要な検体であり、ウイルス陽性率は疾患全体で 16.1% (31/193)、無菌性髄膜炎で 23.2% (26/112) であった。

## (2) 疾患別

検体数の多い疾患について検体の種類をみると、最も多いインフルエンザの検体では咽頭拭い液 68.2% (419/614) が最も多く、陽性率は 77.1% (323/419) であった。続いてうがい液、鼻汁・鼻腔拭い液がそれぞれ 18.4% (113/614)、11.6% (71/614) であり、陽性率はそれぞれ 66.4% (75/113)、77.5% (55/71) であった。感染性胃腸炎の検体では便・直腸拭いが 90.5% (237/262) を占め、陽性率 63.7% (151/237) であった。麻しんの検体では 3 種類 (咽頭拭い液 82、血液・血清 79、尿 73) の検体で 99.6% (234/235) を占めた。検体それぞれの陽性率は咽頭拭い液 9.8% (8/82)、血液・血清 10.1% (8/79)、尿 13.5% (5/37) であった。無菌性髄膜炎では主に髄液 54.9% (112/204) であり、陽性率は 23.2% (26/112) であった。次いで便・直腸拭い 19.6% (40/204)、咽頭拭い液 18.1% (37/204) であり、陽性率はそれぞれ 37.5% (15/40)、40.5% (15/37) であった。

(文責：入谷)

表3 月別・疾患別検出数とウイルス陽性数

疾患名/月	1	2	3	4	5	6	7
<b>インフルエンザ</b>	<b>154(135)</b> FLU_AH1pdm09(4) FLU_AH3(123) FLU_B(1) FLU_B_Yamagata(1) Hcov-NL63(1) Rhino_untype(3) RhinoA(1) RSA(1) RSB(2) <<3重複1>>	<b>122(101)</b> Ad2(2) FLU_AH_untype(1) FLU_AH1pdm09(2) FLU_AH3(90) FLU_B_Victoria(2) hMPV(2) Mumps_untype(2) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	<b>100(71)</b> Ad_untype(1) Ad3(1) FLU_AH_untype(1) FLU_AH1pdm09(6) FLU_AH3(43) FLU_B(3) FLU_B_Victoria(6) FLU_B_Yamagata(4) HBov(1) hMPV(3) Rhino_untype(3) RSB(2) <<2重複3>>	<b>39(27)</b> FLU_AH_untype(1) FLU_AH1pdm09(5) FLU_AH3(14) FLU_B(2) FLU_B_Yamagata(4) Rhino_untype(1)	<b>25(14)</b> Ad2(2) FLU_AH3(2) FLU_B(2) FLU_B_Victoria(2) FLU_B_Yamagata(2) hMPV(2) HPeV_untype(1) Rhino_untype(2) RhinoB(1) RhinoC(1) <<2重複3>>	<b>22(10)</b> Ad2(1) CA6(1) FLU_AH3(1) FLU_B_Victoria(1) FLU_B_Yamagata(2) PIV3(1) Rhino_untype(2) RhinoC(1)	<b>12(7)</b> CA6(1) ECHO6(1) FLU_AH1pdm09(1) FLU_AH3(2) FLU_B_Yamagata(1) Rhino_untype(1)
<b>咽頭結膜熱</b>	<b>5(5)</b> Ad2(3) Ad54(2)	<b>8(7)</b> Ad1(1) Ad2(4) Ad3(2) RhinoC(1) <<2重複1>>	<b>9(5)</b> Ad1(2) Ad2(1) Ad3(1) RhinoC(1)	<b>9(7)</b> Ad1(3) Ad2(4)	<b>14(8)</b> Ad1(2) Ad2(4) Ad3(1) ECHO6(1)	<b>5(3)</b> Ad1(1) Ad2(2)	<b>12(10)</b> Ad2(6) Ad3(1) ECHO6(1) PIV1(1) Rhino_untype(1)
<b>感染性胃腸炎</b>	<b>7(2)</b> Ad40/41(1) NVG2-2(1)	<b>19(14)</b> Ad1(1) Ad2(1) Ad40/41(3) Astro_type1(1) hMPV(1) NVG2-2(2) NVG2-4(2) NVG2-6(1) RotaA_untype(1) RotaAG2(1) RotaAG3(3) SapoG1(1) SapoG2(1)	<b>28(18)</b> Ad2(1) Ad40/41(3) Astro_type1(2) NVG1-4(1) NVG2-3(1) NVG2-4(2) Rhino_untype(1) RotaA_untype(1) RotaAG2(1) RotaAG3(3) SapoG1(1) SapoG2(1)	<b>39(32)</b> Ad2(1) Ad40/41(2) Astro_type1(3) NVG2-2(1) NVG2-3(3) NVG2-4(1) RotaA_untype(2) RotaAG2(4) RotaAG3(8) RotaAG8(1) RotaAG9(6) SapoG1(1) <<2重複1>>	<b>40(28)</b> Ad2(4) Ad31(1) Ad40/41(4) Ad5(1) Astro_type1(3) Astro_type3(1) Astro_type4(1) NVG2_untype(2) NVG2-3(1) NVG2-4(1) RotaA_untype(5) RotaAG3(5) RotaAG9(1) SapoG1(1) SapoG4(1) <<2重複4>>	<b>53(31)</b> Ad2(2) Ad40/41(4) Ad5(1) Astro_type1(3) ECHO7(2) NVG2_untype(3) NVG2-3(2) NVG2-4(12) Rhino_untype(1) RotaAG1(1) RotaAG9(1) <<2重複1>>	<b>8(3)</b> NVG2-4(2) RotaAG8(1)
<b>水痘</b>	<b>1(1)</b> VZV(1)		<b>1(1)</b> VZV(1)	<b>1(0)</b>	<b>2(2)</b> VZV(2)		<b>1(0)</b>
<b>手足口病</b>	<b>3(3)</b> CA6(2) EV71(1) RhinoA(1) <<2重複1>>		<b>6(5)</b> CA6(4) EV71(1)	<b>6(5)</b> CA16(1) CA6(4)	<b>22(17)</b> CA6(10) ECHO18(2) ECHO7(1) EV71(4)	<b>37(32)</b> Ad1(1) CA6(22) EV71(6) Rhino_untype(2) RhinoA(1) RSA(1) <<2重複1>>	<b>48(41)</b> CA2(1) CA6(37) EV71(3) Rhino_untype(1) <<2重複1>>
<b>ヘルパンギーナ</b>	<b>1(0)</b>	<b>3(2)</b> CA6(1) HSV1(1) RhinoA(2) <<2重複2>>		<b>3(2)</b> HSV1(1) RhinoA(1)	<b>6(1)</b> RhinoA(1)	<b>5(5)</b> CA6(2) HSV1(1) RhinoA(1) RhinoC(1)	<b>9(6)</b> CA10(1) CA2(1) CA6(4)
<b>麻疹</b>	<b>5(0)</b>	<b>21(0)</b>	<b>9(0)</b>	<b>76(16)</b> measles_untype(1) measlesD8(15)	<b>45(2)</b> HHV6_untype(2)	<b>20(0)</b>	<b>15(0)</b>
<b>流行性耳下腺炎</b>	<b>5(4)</b> Mumps_genotypeG(3) Mumps_untype(1)	<b>5(2)</b> Mumps_genotypeG(1) Mumps_untype(1)	<b>3(2)</b> Mumps_genotypeG(2)	<b>2(1)</b> Mumps_genotypeG(1)	<b>3(2)</b> Mumps_genotypeG(2)		
<b>脳症・脳脊髄炎</b>	<b>6(0)</b>	<b>16(0)</b>	<b>4(0)</b>	<b>6(1)</b> hMPV(1)	<b>3(0)</b>	<b>3(0)</b>	<b>8(0)</b>
<b>無菌性髄膜炎</b>	<b>15(2)</b> ECHO9(1) RhinoA(1)	<b>6(0)</b>	<b>14(2)</b> Mumps_genotypeG(1) RhinoC(1)	<b>14(1)</b> Mumps_genotypeG(1)	<b>21(4)</b> ECHO18(1) ECHO6(3)	<b>24(5)</b> ECHO6(2) ECHO7(1) EV71(1) Mumps_genotypeG(1)	<b>24(14)</b> CB2(3) ECHO6(7) EV71(3) Mumps_genotypeG(1) NVG1-4(1) NVG2-2(1) <<3重複1>>
<b>口内炎・上気道炎</b>	<b>3(3)</b> Hcov-OC43(1) hMPV(1) HSV1(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	<b>2(2)</b> Hcov-NL63(1) Hcov-OC43(1)	<b>5(4)</b> Hcov-OC43(1) hMPV(1) Rhino_untype(2)	<b>12(4)</b> Ad2(2) Rhino_untype(1) RSA(1)	<b>2(1)</b> HBov(1)	<b>6(5)</b> PIV3(4) Rhino_untype(3) <<2重複2>>	<b>6(6)</b> Ad5(2) ECHO6(3) PIV3(1)
<b>下気道炎</b>	<b>5(1)</b> RSA(1)	<b>3(2)</b> FLU_AH3(1) Rhino_untype(1)	<b>13(7)</b> Hcov-OC43(1) hMPV(4) Rhino_untype(2)	<b>12(8)</b> HBov(1) hMPV(4) Rhino_untype(2) RotaAG1(1) RSB(1) <<2重複1>>	<b>5(2)</b> HBov(1) hMPV(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	<b>8(5)</b> Ad2(2) PIV3(1) Rhino_untype(2) RSA(1) <<2重複1>>	<b>10(9)</b> Ad2(1) Ad5(1) Hcov-NL63(1) hMPV(1) NVG1-1(1) PIV3(2) Rhino_untype(1) RSA(1)
<b>RSウイルス感染症</b>	<b>5(4)</b> RSA(3) RSB(1)	<b>5(3)</b> hMPV(1) Rhino_untype(1) RSA(1) RSB(1) <<2重複1>>	<b>5(3)</b> RSB(3)	<b>7(7)</b> Ad5(1) hMPV(2) Rhino_untype(2) RSA(1) RSB(2) <<2重複1>>	<b>7(3)</b> Ad2(1) Rhino_untype(1) RSA(1)	<b>7(3)</b> Ad3(1) ECHO6(1) RSA(1)	<b>12(11)</b> Ad2(1) EV71(1) Rhino_untype(1) RSA(6) RSB(3) <<2重複1>>
<b>流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎</b>	<b>1(1)</b> Ad54(1)		<b>3(0)</b>	<b>1(1)</b> Ad3(1)	<b>2(2)</b> Ad37(2)	<b>3(2)</b> Ad19/64(2)	<b>2(1)</b> Ad3(1)
<b>その他</b>	<b>32(8)</b> CHIKV(1) Dengue2(3) HHV6B(1) HSV1(2) NVG2-6(1)	<b>18(6)</b> Dengue2(1) HAV(2) HHV6B(1) HHV7(1) Rhino_untype(1)	<b>6(1)</b> Dengue3(1)	<b>12(3)</b> Ad5(1) FLU_C(1) HAV(1) HBov(1) Rhino_untype(1) <<3重複1>>	<b>10(3)</b> CA6(1) Dengue2(1) HHV6B(1)	<b>18(5)</b> Ad2(1) CA6(2) HHV6B(1) PIV2(1)	<b>27(9)</b> CA10(1) CA6(1) Dengue1(1) Dengue2(1) EV71(3) HAV(1) HBov(1) PIV1(1) PIV3(1) <<2重複2>>
<b>風しん</b>			<b>3(0)</b>	<b>3(0)</b>	<b>2(0)</b>		
<b>計</b>	<b>248(169)</b>	<b>228(139)</b>	<b>209(119)</b>	<b>242(115)</b>	<b>209(89)</b>	<b>211(106)</b>	<b>194(117)</b>
<b>構成(%)</b>	<b>10.8</b>	<b>9.9</b>	<b>9.1</b>	<b>10.5</b>	<b>9.1</b>	<b>9.2</b>	<b>8.4</b>
<b>陽性(%)</b>	<b>68.1</b>	<b>61.0</b>	<b>58.9</b>	<b>47.5</b>	<b>42.6</b>	<b>50.2</b>	<b>60.3</b>

注：( ) 陽性数、( )2種類以上の検出がみられた検体数

FLU-AH3,インフルエンザA香港型; FLU-AH1pdm09,インフルエンザAH1pdm09型; FLU-B,インフルエンザB型; Ad,アデノ; CA,コクサッキーA; CB,コクサッキーB; NV,ノロ; HAV,A型肝炎ウイルス  
HSV,単純ヘルペス; HHV,ヒトヘルペス; hMPV,ヒトメタニューモ; HBov,ヒトボカ; PIV,パラインフルエンザ; Hcov,ヒトコロナ; CHIKV,チクングニア; EV,エンテロ; VZV,水痘・带状疱疹ウイルス

8	9	10	11	12	計	構成(%)	陽性(%)	検出ウイルス
14(7) CA6(1) FLU_AH1pdm09(2) FLU_AH3(2) PIV2(1) RhinoC(1)	10(5) CA2(1) FLU_AH1pdm09(2) FLU_AH3(1) hMPV(1)	13(7) FLU_AH1pdm09(2) FLU_AH3(2) FLU_B(1) Rhino_untype(2)	19(13) CA2(1) ECHO9(1) FLU_AH1pdm09(3) FLU_AH3(3) FLU_B(3) FLU_B_Yamagata(1) Rhino_untype(1) RSA(1) <<2重複1>>	84(58) FLU_AH1pdm09(25) FLU_AH3(9) FLU_B(8) FLU_B_Yamagata(15) RSB(1)	614(455)	26.7	74.1	Ad_untype(1) Ad2(5) Ad3(1) CA2(2) CA6(3) ECHO6(1) ECHO9(1) FLU_AH_untype(3) FLU_AH1pdm09(52) FLU_AH3(292) FLU_B(20) FLU_B_Victoria(11) FLU_B_Yamagata(30) HBov(1) Hcov-NL63(1) hMPV(8) HPeV_untype(1) Mumps_untype(2) PIV2(1) PIV3(1) Rhino_untype(18) RhinoA(1) RhinoB(1) RhinoC(3) RSA(2) RSB(5) <<2重複8>> <<3重複1>>
4(2) Ad3(1) CA6(1)	5(3) Ad3(3)	4(4) Ad2(2) Ad3(2)	1(1) Ad3(1)	3(2) Ad2(2)	79(57)	3.4	72.2	Ad1(9) Ad2(28) Ad3(12) Ad5(4) CA6(1) ECHO6(2) PIV1(1) Rhino_untype(1) RhinoC(2) <<2重複1>>
15(3) ECHO18(1) NVG2-4(2)	12(3) NVG2-4(2) SapoG4(1)	5(1) HPeV1 (Parecho1)(1)	14(5) NVG2_untype(1) NVG2-4(3) SapoG2(1)	22(15) Ad40/41(2) ECHO11(1) NVG2_untype(6) NVG2-2(1) NVG2-4(5) SapoG1(1) <<2重複1>>	282(155)	11.4	58.2	Ad1(1) Ad2(9) Ad3(1) Ad40/41(19) Ad5(2) Astro_type1(12) Astro_type3(1) Astro_type4(1) ECHO11(1) ECHO18(1) ECHO7(2) hMPV(1) HPeV1 (Parecho1)(1) NVG1-4(1) NVG2_untype(12) NVG2-2(5) NVG2-3(7) NVG2-4(32) NVG2-6(1) Rhino_untype(2) RotaA_untype(9) RotaAG1(1) RotaAG2(6) RotaAG3(16) RotaAG8(2) RotaAG9(8) SapoG1(4) SapoG2(2) SapoG4(2) <<2重複7>>
2(2) VZV(2)	4(1) VZV(1)	1(1) VZV(1)	2(2) VZV(2)		15(10)	0.7	66.7	VZV(10)
12(10) CA6(6) ECHO3(1) ECHO9(1) hMPV(1) Rhino_untype(1) RSB(1) <<2重複1>>	15(12) CA10(2) CA6(5) EV71(4) HPeV1 (Parecho1)(1) RhinoC(1) RSA(1) <<3重複1>>	4(3) CA16(1) EV71(1) PIV2(1)	7(4) CA10(1) EV71(4) <<2 重複1>>	10(5) Ad2(1) CB2(1) ECHO6(1) EV71(2) NVG2-4(1) RSA(1) <<3重複1>>	170(137)	7.4	80.6	Ad1(1) Ad2(1) CA10(3) CA18(2) CA2(1) CA6(90) CB2(1) ECHO18(2) ECHO3(1) ECHO6(1) ECHO7(1) ECHO9(1) EV71(28) hMPV(1) HPeV1 (Parecho1)(1) NVG2-4(1) PIV2(1) Rhino_untype(4) RhinoA(2) RhinoC(1) RSA(3) RSB(1) <<2重複5>> <<3重複2>>
8(4) CA10(2) CA2(2)	10(8) CA10(1) CA2(2) CA6(1) ECHO3(1) EV71(1) HPeV_untype(1) Rhino_untype(1) RSA(1) <<2重複3>>	12(4) CA10(1) CA4(1) Rhino_untype(1) RSA(1)	10(8) CA10(5) CA2(2) RSB(1)	1(1) CA10(1)	88(41)	2.9	62.1	CA10(11) CA2(7) CA4(1) CA6(8) ECHO3(1) EV71(1) HPeV_untype(1) HSV1(3) Rhino_untype(2) RhinoA(5) RhinoC(1) RSA(2) RSB(1) <<2重複3>>
11(0)	8(3) Rubella(3)	12(0)	4(0)	9(0)	235(21)	10.2	8.9	HHV6_untype(2) measles_untype(1) measlesD8(15) Rubella(3)
4(1) Mumps_genotypeG(1)	4(0)	2(0)			28(12)	1.2	42.9	Mumps_genotypeG(10) Mumps_untype(2)
7(1) CA6(1)	12(0)	5(0)	17(1) CA10(1)	9(2) CA10(2) HCoV- HKU1(1) <<2重複1>>	96(5)	4.2	5.2	CA10(3) CA6(1) HCoV-HKU1(1) hMPV(1) <<2重複1>>
38(14) ECHO25(2) ECHO6(10) EV71(2) HHV6B(1) Mumps_genotypeG(1) Rhino_untype(1) <<2重複2>>	12(7) ECHO6(2) EV71(1) HPeV3 (Parecho3)(3) NVG1-3(1)	10(2) EV71(1) HPeV_untype(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	20(6) CB2(4) RhinoC(1) RSA(1)	6(3) CB2(1) ECHO6(2)	204(60)	8.9	29.4	CB2(8) ECHO18(1) ECHO25(2) ECHO6(26) ECHO7(1) ECHO9(1) EV71(8) HHV6B(1) HPeV_untype(1) HPeV3 (Parecho3)(3) Mumps_genotypeG(5) NVG1-3(1) NVG1- 4(1) NVG2-2(1) Rhino_untype(2) RhinoA(1) RhinoC(2) RSA(1) <<2重複4>> <<3重複1>>
5(3) Ad3(1) ECHO9(1) PIV4(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	3(1) PIV1(1)	9(1) Rhino_untype(1)		1(1) Rhino_untype(1)	54(31)	2.4	57.4	Ad2(2) Ad3(1) Ad5(2) ECHO6(3) ECHO9(1) HBov(1) Hcov-NL63(1) Hcov-OC43(3) hMPV(2) HSV1(1) PIV1(1) PIV3(5) PIV4(1) Rhino_untype(10) RSA(1) <<2重複4>>
11(6) EV71(3) PIV2(1) Rhino_untype(2)	9(6) Ad2(1) Ad5(4) PIV1(1) Rhino_untype(6) <<2重 複3>>	10(8) CA10(1) EV-D68(2) PIV1(1) PIV4(1) Rhino_untype(4) <<2重 複1>>	7(1) Rhino_untype(1) RSA(1) <<2重複1>>	1(1) Rhino_untype(1)	94(56)	4.1	59.6	Ad2(4) Ad5(1) Ad5(4) CA10(1) EV71(3) EV-D68(2) FLU_AH3(1) HBov(2) Hcov-NL63(1) Hcov-OC43(1) hMPV(10) NVG1-1(1) PIV1(2) PIV2(1) PIV3(3) PIV4(1) Rhino_untype(23) RotaAG1(1) RSA(4) RSB(1) <<2重複 8>>
28(24) Ad3(1) Rhino_untype(2) RSA(18) RSB(5) <<2重複2>>	12(10) RSA(8) RSB(2)	4(4) Rhino_untype(1) RSA(3)	3(3) Rhino_untype(1) RSA(1) RSB(1)	1(1) Rhino_untype(1)	94(78)	4.1	80.9	Ad2(2) Ad3(2) Ad5(1) ECHO6(1) EV71(1) hMPV(3) Rhino_untype(10) RSA(43) RSB(18) <<2重複5>>
3(2) Ad1(1) Ad19/64(1)	2(1) Ad37(1)	1(1) Ad54(1)		1(1) Ad54(1)	19(12)	0.8	63.2	Ad11(1) Ad19/64(3) Ad3(2) Ad37(3) Ad54(3)
38(11) Ad1(2) Dengue1(1) ECHO6(3) HHV7(1) NVG1-2(1) NVG2-4(1) Rhino_untype(2) RSA(1) RSB(1) <<2重複2>>	24(5) Ad2(1) CA6(1) Dengue1(1) ECHO6(1) HHV7(1)	15(7) Ad3(1) CB2(2) Dengue4(1) ECHO6(1) HHV6B(1) PIV1(2) RSA(2) RSB(1) <<2重複2>> <<3重複 1>>	26(7) Dengue1(1) Dengue3(1) HHV6B(2) PIV1(2) RSA(1)	25(6) Dengue2(1) HHV6B(3) HSV1(1) RSA(1)	249(71)	10.8	28.5	Ad1(2) Ad2(2) Ad3(1) Ad5(1) CA10(1) CA6(5) CB2(2) CHIKV(1) Dengue1(4) Dengue2(7) Dengue3(2) Dengue4(1) ECHO6(5) EV71(3) FLU_C(1) HAV(4) HBov(2) HHV6B(1) HHV7(3) HSV1(3) NVG1-2(1) NVG2-4(1) NVG2-6(1) PIV1(5) PIV2(1) PIV3(1) Rhino_untype(4) RSA(5) RSB(2) <<2重複6>> <<3重複 2>>
4(0)		4(1) Rubella_1E(1)	2(0)		18(1)	0.8	5.6	Rubella_1E(1)
198(90)	142(85)	111(44)	132(51)	173(98)	2297(1200)	100.0	52.2	
8.6	6.2	4.8	5.7	7.5	100.0			
45.5	45.8	39.6	38.8	55.5	52.2			

表4 疾患別にみた検体の種類とウイルス陽性数

疾患名/検体名	便・直腸拭い	咽拭い液	うがい液	鼻汁・鼻拭い液
インフルエンザ	2(0)	419(323) Ad_unttype(1) Ad2(4) Ad3(1) CA2(2) CA6(3) ECHO6(1) ECHO9(1) FLU_AH_unttype(3) FLU_AH1pdm09(23) FLU_AH3(212) FLU_B(3) FLU_B.Victoria(11) FLU_B.Yamagata(30) HBov(1) Hcov-NL63(1) hMPV(7) HPeV_unttype(1) Mumps_unttype(1) PIV2(1) PIV3(1) Rhino_unttype(12) RhinoA(1) RhinoB(1) RhinoC(3) RSA(2) RSB(3) <<2重複7>>	113(78) FLU_AH1pdm09(13) FLU_AH3(54) FLU_B(8)	71(55) Ad2(1) FLU_AH1pdm09(15) FLU_AH3(26) FLU_B(9) hMPV(1) Rhino_unttype(4) RSB(2) <<2重複1>> <<3重複1>>
咽頭結核菌	19(18) Ad1(4) Ad2(12) Ad3(1) Ad5(4)	56(39) Ad1(5) Ad2(16) Ad3(11) Ad5(4) CA6(1) ECHO6(2) PIV1(1) Rhino_unttype(1) RhinoC(2) <<2重複1>>		1(0)
感染性胃腸炎	237(151) Ad1(1) Ad2(8) Ad3(1) Ad40/41(19) Ad5(2) Astro_type1(12) Astro_type3(1) Astro_type4(1) ECHO11(1) ECHO18(1) ECHO7(2) HPeV1 (Parecho1)(1) NVG1-4(1) NVG2_unttype(12) NVG2-2(5) NVG2-3(7) NVG2-4(32) NVG2-6(1) RotaA_unttype(9) RotaAG1(1) RotaAG2(6) RotaAG3(16) RotaAG8(2) RotaAG9(8) SapoG1(4) SapoG2(2) SapoG4(2) <<2重複7>>	16(3) Ad2(1) hMPV(1) Rhino_unttype(1)		5(1) Rhino_unttype(1)
水痘	1(0)	VZV(7)		
手足口病	27(22) Ad1(1) Ad2(1) CA6(15) ECHO18(1) ECHO3(1) ECHO6(1) ECHO7(1) EV71(3) NVG2-4(1) <<2重複1>> <<3重複1>>	127(110) CA10(3) CA16(2) CA2(1) CA6(7) CB2(1) ECHO9(1) EV71(23) hMPV(1) HPeV1 (Parecho1)(1) PIV2(1) Rhino_unttype(4) RhinoA(2) RhinoC(1) RSA(3) RSB(1) <<2重複4>> <<3重複1>>		4(1) ECHO18(1)
ヘルパンギーナ	2(1) CA6(1)	83(40) CA10(11) CA2(7) CA4(1) CA6(7) ECHO3(1) EV71(1) HPeV_unttype(1) HSV1(3) Rhino_unttype(2) RhinoA(5) RhinoC(1) RSA(2) RSB(1) <<2重複3>>		
麻疹		82(8) HHV6_unttype(1) measlesD8(6) Rubella(1)		1(0)
流行性耳下腺炎	1(0)	Mumps_genotypeG(1)	12(9) Mumps_genotypeG(9)	1(0)
脳症・脳脊髄炎	27(1) CA10(1)	11(1) hMPV(1)		19(3) CA10(2) CA6(1) HCoV-HKU1(1) <<2重複1>>
細菌性髄膜炎	40(15) CB2(2) ECHO25(1) ECHO6(8) EV71(3) HPeV3 (Parecho3)(1) NVG1-3(1) NVG1-4(1) NVG2-2(1) <<2重複1>> <<3重複1>>	37(15) CB2(2) ECHO25(1) ECHO6(5) EV71(3) HPeV_unttype(1) HPeV3 (Parecho3)(1) Rhino_unttype(2) RhinoA(1) RhinoC(2) <<2重複3>>	1(0)	3(2) ECHO6(1) RSA(1)
口内炎・上気道炎	6(2) Ad5(1) ECHO6(1)	17(10) Ad2(1) Ad3(1) Ad5(1) ECHO6(2) ECHO9(1) hMPV(1) HSV1(1) PIV1(1) PIV4(1) RSA(1) <<2重複1>>	1(0)	24(17) Hcov-NL63(1) Hcov-OC43(3) hMPV(1) PIV3(5) Rhino_unttype(10) <<2重複3>>
下気道炎	10(4) EV71(1) EV-D68(1) NVG1-1(1) RotaAG1(1)	26(19) Ad2(2) Ad5(1) EV71(1) EV-D68(1) Hcov-NL63(1) Hcov-OC43(1) hMPV(5) PIV3(2) Rhino_unttype(3) RSA(1) RSB(1)		41(24) Ad2(1) CA10(1) FLU_AH3(1) HBov(2) hMPV(5) PIV1(1) PIV4(1) Rhino_unttype(13) RSA(2) <<2重複3>>
RSウイルス感染症	4(2) Ad3(2) RSA(1) <<2重複1>>	72(60) ECHO6(1) EV71(1) hMPV(3) Rhino_unttype(7) RSA(36) RSB(14) <<2重複2>>		18(14) Ad2(2) Ad5(1) Rhino_unttype(3) RSA(6) RSB(4) <<2重複2>>
流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎		1(1) Ad3(1)		
その他	46(12) Ad1(1) CB2(1) ECHO6(2) EV71(2) HAV(4) NVG1-2(1) NVG2-4(1) NVG2-6(1) <<2重複1>>	66(17) Ad2(2) CA10(1) CA6(3) ECHO6(1) EV71(1) HHV6B(1) HHV7(2) HSV1(2) Rhino_unttype(2) RSA(2)		34(16) Ad1(1) Ad3(1) Ad5(1) CA6(2) CB2(1) ECHO6(2) FLU_C(1) HBov(2) PIV1(5) PIV2(1) PIV3(1) Rhino_unttype(2) RSA(3) RSB(2) <<2重複5>> <<3重複2>>
麻疹		7(1) Rubella 1E(1)	1(0)	
計	428(228)	1023(655)	128(84)	222(133)
陽性率(%)	18.5	44.5	5.0	9.7
陽性率(%)	53.6	64.0	65.6	59.9

注：( ) 陽性数、( )2種類以上の検出がみられた検体数  
 FLU-AH3、インフルエンザA香港型、FLU-AH1pdm09、インフルエンザAH1pdm09型、FLU-B、インフルエンザB型、Ad、アデノ、CA、コクサッキーA、CB、コクサッキーB、NV、ノロ、HAV、A型肝炎ウイルス  
 HSV、単純ヘルペス、HHV、ヒトヘルペス、hMPV、ヒトメタニューモ、HBov、ヒトボカ、PIV、パラインフルエンザ、Hcov、ヒトコロナ、CHIKV、チクングニア、EV、エンテロ、VZV、水痘・帯状疱疹ウイルス

IV 検査情報

喀痰・気管吸引液	結膜拭い液	髄液	血液・血清	尿	皮膚拭い液・水疱	吐物	その他	計	構成(%)	陽性(%)
4(1) FLU_AH1pdm09(1)		4(1) Mumps_untype(1)	1(0)					614(455)	26.7	74.1
	1(0)							77(57)	3.4	74.0
		4(0)						262(155)	11.4	59.2
			1(1) VZV(1)		2(2) VZV(2)			15(10)	0.7	66.7
1(1) CA6(1)		6(0) CA6(1)	2(1) CA6(1)	2(1) CA6(1)	1(1) CA6(1)			170(137)	7.4	80.6
		1(0)						66(41)	2.9	62.1
			7(8) HHV6_untype(1) measles_untype(1) measlesD8(5) Rubella(1)	7(5) measlesD8(4) Rubella(1)				235(21)	10.2	8.9
		3(2) Mumps_untype(2)		1(0)				28(12)	1.2	42.9
1(0)		29(0)	6(0)	3(0)				96(5)	4.2	5.2
		112(28) CB2(4) ECHO18(1) ECHO6(1) ECHO7(1) ECHO9(1) EV71(2) HHV6B(1) Mumps_genotypeG(5)	7(1) HPeV3 (Parecho3) (1)	4(1) ECHO6(1)				204(80)	8.9	29.4
2(2) Ad2(1) HBov(1)		3(0)	1(0)					54(31)	2.4	57.4
13(8) Ad2(1) Ad54(1) PIV1(1) PIV2(1) PIV3(1) Rhino_untype(7) RSA(1) <<重複5>>		2(1) EV71(1)	1(0)	1(0)				94(56)	4.1	59.6
								94(76)	4.1	80.9
	17(11) Ad1(1) Ad19/64(3) Ad3(1) Ad37(3) Ad54(3)		1(0)					19(12)	0.8	63.2
2(0)	1(0)	29(1) HHV6B(1)	53(24) CHIKV(1) Dengue1(4) Dengue2(6) Dengue3(2) Dengue4(1) HHV6B(8) HHV7(1) HSV1(1)	11(1) Dengue2(1)	1(0)		1(0)	249(71)	10.8	28.5
			6(0)	4(0)				18(1)	0.8	5.6
23(12) 1.0 52.2	19(11) 0.8 57.9	193(31) 8.4 16.1	158(35) 6.9 22.2	99(8) 4.3 8.1	4(3) 0.2 75.0	0(0) 0.0 0.0	1(0) 0.0 0.0	2297(1200) 100.0 52.2	100.0	52.2



## 2 細菌検査情報

1) 大阪府内で届け出のあった一類、二類（結核を除く）および三類感染症の病原菌検出状況（表5～8）

大阪府ではこの1年間にペスト（一類感染症）、ジフテリア（二類感染症）は発生しなかった。三類感染症は以下のとおりである。

1. コレラ：輸入例が1例あり、分離株は *Vibrio cholerae* O1 小川型であった。
2. 細菌性赤痢：7例あり、すべての症例で *Shigella sonnei* が分離された。
3. 腸チフス：輸入例が3例あり、分離株のファージ型はE1（2例；インド、ミャンマー）UVS4（パキスタン）であった。
4. パラチフス：輸入例は2例で、分離株のファージ型は1（インドネシア）、UT（東～東南アジア）であった。国内発生例は1例でファージ型は1であった。
5. 腸管出血性大腸菌感染症：166例の届出があり、すべて国内発生であった。O157によるものが最も多く132例で、このうち1例は菌分離陰性、O157抗体陽性であった。次いでO26が多く分離されていた。集団発生例はなかった。

### 2) 四類感染症の病原菌検出状況：（表9）

レジオネラ症として届出のあった患者の喀痰から分離した菌株の血清群別検出数を示した。

表5 大阪府における一類、二類および三類感染症の病原菌検出状況 2017（平成29）年

類型	感染症名	大阪府内計	大阪府内再掲						
			大阪府	大阪市	堺市	高槻市	東大阪市	豊中市	枚方市
一類感染症	ペスト								
二類感染症	ジフテリア								
三類感染症	コレラ	1(1)	1(1)						
	細菌性赤痢	7(6)	2(2)	4(1)					1
	腸チフス	3(3)	1(1)	2(2)					
	パラチフス	3(2)	2(1)	1(1)					
	腸管出血性大腸菌感染症	166	61	44	27	6	9	7	12

( ) 内は輸入例再掲

表6 赤痢菌の菌型 2017（平成29）年

菌型	大阪府内計	大阪府内再掲		
		大阪府	大阪市	枚方市
<i>Shigella sonnei</i>	7	2	4	1

表7 輸入症例の推定感染国（病原菌別集計） 2017（平成29）年

感染症名	推定感染国（ ）内数字は分離菌株数
コレラ	フィリピン(1)
腸チフス	インド(1)、ミャンマー(1)、パキスタン(1)
パラチフス	インドネシア(1)、中国～ベトナム～カンボジア(1)

表8 腸管出血性大腸菌の血清群 2017（平成29）年

血清群	VT型	大阪府内小計		大阪府内再掲													
		感染者数	HUS	大阪府		大阪市		堺市		高槻市		東大阪市		豊中市		枚方市	
				感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	HUS
	1&2	71	2	30	20	1	14		1	1	1		1		1		4
0157	2	58	2	22	11	1	6	1	1		7		4				7
	1	3	0		1				2								
	不明	0	0														
	0157抗体陽性	1	1						1	1							
	0157小計	133	5	52	32	2	20	1	5	2	8	0	5				11
026	1	17	0	5	4		7						1				
0103	2	3	0	1	2												
0111	1	2	0		2												
0121	2	3	1	1	1						1	1					
0145	1	1	0	1													
055	1	1	0		1												
091	1	1	0														1
0115	1	1	0										1				
0128	1	1	0		1												
0152	1	1	0						1								
0群不明	1	2	0	1	1												
	0157以外小計	33	1	9	12	0	7	0	1	0	1	1	2				1
	合計	166	6	61	44	2	27	1	6	2	9	1	7				12

表9 四類感染症の病原菌検出状況（検体受付月別検出数） 2017（平成29）年

検出病原体	血清群	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<i>Legionella pneumophila</i>	1	8		1					2		2	2	1	
	6	1			1									
	合計	9	0	1	1	0	0	0	2	0	2	2	1	0

### 3) 五類感染症の病原菌検出状況：(表 10-1 ~ 10-3)

定点医療機関に病原体サーベイランスについての冊子および検体輸送用のシードスワブを配布し、検体採取の依頼を行った。表 10-1、2 に A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎の月別検出数を示した。百日咳については 11 件の検体搬入があり、そのうち 2 症例が遺伝子検査で陽性となった。

表 10-3 にカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症として届出された症例のうち、収集した菌株について、菌種およびカルバペネマーゼ遺伝子保有状況を示した。検出されたカルバペネマーゼ遺伝子はすべて IMP 型で、NDM 型や KPC 型など海外で多いタイプは検出されなかった。

### 4) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症調査（近畿地区の成績）

近畿地区内で報告のあった劇症型溶血性レンサ球菌のうち、菌株の確保できた 80 例 80 株（昨年は 49 例）について解析を実施した（表 12）。血清群ごとの内訳は、A 群が 28 株、G 群が 34 株、B 群が 17 株であった。A 群では血清型 /M 蛋白遺伝子型 T1 型 /*emm1.0* が 21.4% と最も多く、次いで T25 型 /*emm75.0* が 14.3% であった。昨年と比較すると、G 群による劇症例が昨年の 14 株から 34 株に増加しており、また、B 群も 3 株から 17 株へと増加傾向にあることが特徴的であった。

(文責：河原)

表 10 五類感染症の病原菌検出状況（検体受付月別検出数）

表10-1 診断名：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、検出病原体： *Streptococcus pyogenes*

血清型	計	月別菌株数											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
T1	3	1	1	1									
T3	6					1						4	1
T4	1			1									
T6	1								1				
T12	9	1			1		4	1			1		1
T25	2									1		1	
TB3264	3						2						1
T型別不能	3			2						1			
合計	28	2	1	4	1	1	6	1	1	2	1	5	3

表10-2 診断名：感染性胃腸炎

検出病原体	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<i>Salmonella</i> O4:i:-	1	1											
<i>Salmonella</i> Shwarzengrund	1	1											
<i>Salmonella</i> Newport	1								1				
<i>Salmonella</i> Saintpaul	1										1		
<i>Salmonella</i> Bareilly	1											1	
合計	5	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0

表10-3 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌検出状況

菌種	株数合計	カルバペネマーゼ遺伝子型	
		IMP型	検出されず
<i>Enterobacter cloacae</i>	24	2	22
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	22	16	6
<i>E.coli</i>	19	15	4
<i>Klebsiella aerogenes</i> *	17	0	17
<i>Serratia marcescens</i>	6	2	4
<i>Proteus mirabilis</i>	2	1	1
<i>Citrobacter braakii</i>	1	0	1
<i>Citrobacter koseri/amalonicus</i>	1	1	0
<i>Citrobacter freundii</i>	1	1	0
<i>Klebsiella oxytoca</i>	1	1	0
合計	94	39	55

\**Enterobacter aerogenes* から分類変更 (2017, Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 67:502-504)

表11 4病院\*集計による病原菌検出情報

表11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症例 2017年 近畿支部内

	初診年月日	年齢	性別	発生区域	菌種	血清群	血清型	emm型	spe遺伝子
1	2017/01/05	85歳	男	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	T1	emm1.0	speA, speB
2	2017/01/11	68歳	男	奈良県	<i>S. pyogenes</i>	A	T3	emm3.95	speA, speB
3	2017/01/14	43歳	女	神戸市	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	speB, speC
4	2017/01/15	67歳	女	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A	T-UT	emm77.0	speB
5	2017/01/16	63歳	女	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	T1	emm1.0	speA, speB
6	2017/01/18	75歳	女	京都市	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG653.0	
7	2017/01/24	63歳	男	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	T12	emm76.0	speB
8	2017/01/26	73歳	男	京都市	<i>S. pyogenes</i>	A	T1	emm1.0	speA, speB
9	2017/01/31	58歳	男	奈良県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG6792.3	
10	2017/02/02	72歳	女	和歌山市	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG6792.3	
11	2017/02/10	90歳	女	神戸市	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG6792.3	
12	2017/02/13	94歳	女	神戸市	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG485.0	
13	2017/02/18	67歳	男	奈良県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG245.0	
14	2017/02/23	0歳	女	大阪市	<i>S. agalactiae</i>	B	III		
15	2017/02/24	68歳	女	和歌山県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG485.0	
16	2017/02/27	87歳	男	奈良県	<i>S. agalactiae</i>	B	Ib		
17	2017/03/03	69歳	男	神戸市	<i>S. pyogenes</i>	A	T1	emm1.0	speA, speB
18	2017/03/11	60歳	女	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	T3	emm3.95	speA, speB
19	2017/03/14	0歳	男	神戸市	<i>S. agalactiae</i>	B	III		
20	2017/03/15	35歳	男	和歌山市	<i>S. pyogenes</i>	A	T-UT	emm77.0	speB, speC
21	2017/03/18	0歳	女	神戸市	<i>S. agalactiae</i>	B	Ia		
22	2017/03/25	82歳	女	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	T12	emm12.0	speB, speC
23	2017/03/25	85歳	男	奈良県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG166B.0	
24	2017/04/01	74歳	男	大阪市	<i>S. agalactiae</i>	B	Ia		
25	2017/04/03	75歳	女	神戸市	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stC74a.0	
26	2017/04/12	58歳	男	和歌山市	<i>S. agalactiae</i>	B	V		
27	2017/04/13	76歳	女	大阪府	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG6792.3	
28	2017/04/22	52歳	男	大阪府	<i>S. agalactiae</i>	B	II		
29	2017/04/24	42歳	男	奈良県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG2574.3	
30	2017/05/03	48歳	女	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	speB, speC
31	2017/05/19	74歳	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A	T25	emm75.0	speB
32	2017/05/31	83歳	男	奈良県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG6792.3	
33	2017/06/05	30歳	女	神戸市	<i>S. pyogenes</i>	A	T12	emm12.7	speB
34	2017/06/07	40歳	男	神戸市	<i>S. pyogenes</i>	A	T1	emm1.0	speA, speB
35	2017/06/08	68歳	男	京都市	<i>S. pyogenes</i>	A	T1	emm1.0	speA, speB
36	2017/06/14	69歳	女	神戸市	<i>S. agalactiae</i>	B	Ib		
37	2017/06/22	69歳	男	和歌山市	<i>S. agalactiae</i>	B	III		
38	2017/06/29	48歳	男	尼崎市	<i>S. agalactiae</i>	B	V		
39	2017/07/10	67歳	女	滋賀県	<i>S. pyogenes</i>	A	T-UT	emm81.0	speB, speC
40	2017/07/10	67歳	女	滋賀県	<i>S. pyogenes</i>	A	T-UT	emm81.0	speB, speC

表11 つづき

	初診年月日	年齢	性別	発生区域	菌種	血清群	血清型	emm型	spe遺伝子
41	2017/07/15	91歳	女	高槻市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG485.0	
42	2017/07/21	79歳	女	豊中市	<i>S. pyogenes</i>	A	T12	emm12.0	speB
43	2017/07/24	92歳	女	京都市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG6792.3	
44	2017/07/27	67歳	男	和歌山市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG840.0	
45	2017/08/01	72歳	男	尼崎市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG485.0	
46	2017/08/24	95歳	男	京都市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG485.0	
47	2017/08/24	75歳	女	奈良県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG166B.0	
48	2017/08/31	81歳	男	堺市	<i>S. pyogenes</i>	A	T25	emm75.0	speB
49	2017/08/31	81歳	男	堺市	<i>S. pyogenes</i>	A	T25	emm75.0	speB
50	2017/09/02	92歳	女	尼崎市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG6792.3	
51	2017/09/02	78歳	男	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG6792.3	
52	2017/09/08	57歳	男	大阪府	<i>S. constellatus</i> subsp. <i>constellatus</i>	F			
53	2017/09/12	54歳	男	和歌山市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG485.0	
54	2017/09/19	84歳	男	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG245.0	
55	2017/09/20	69歳	男	神戸市	<i>S. agalactiae</i>	B	Ib		
56	2017/09/30	87歳	男	京都市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG6792.3	
57	2017/10/01	66歳	男	和歌山市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG6792.3	
58	2017/10/07	74歳	女	神戸市	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	speB, speC
59	2017/10/08	77歳	男	大阪市	<i>S. agalactiae</i>	B	VI		
60	2017/10/10	46歳	女	大阪市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG6792.3	
61	2017/10/13	66歳	女	大阪市	<i>S. agalactiae</i>	B	Ia		
62	2017/10/13	0歳	男	大阪市	<i>S. agalactiae</i>	B	Ib		
63	2017/10/14	53歳	男	尼崎市	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	speB
64	2017/10/28	80歳	男	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A	T-UT	emm89.0	speB, speC
65	2017/11/04	60歳	女	和歌山市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG2574.3	
66	2017/11/04	76歳	男	大阪市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG653.0	
67	2017/11/21	81歳	女	和歌山市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG166b.0	
68	2017/11/26	30歳	女	尼崎市	<i>S. pyogenes</i>	A	T3	emm3.1	speA, speB
69	2017/11/26	92歳	男	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG6792.3	
70	2017/11/28	64歳	男	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG245.0	
71	2017/11/30	79歳	女	奈良県	<i>S. agalactiae</i>	B	Ib		
72	2017/12/02	61歳	女	京都市	<i>S. pyogenes</i>	A	T25	emm75.0	speB, speC
73	2017/12/03	72歳	男	神戸市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG485.0	
74	2017/12/06	52歳	女	大阪市	<i>S. agalactiae</i>	B	Ia		
75	2017/12/06	77歳	男	奈良県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG6792.3	
76	2017/12/08	54歳	男	大阪市	<i>S. agalactiae</i>	B	Ib		
77	2017/12/14	85歳	男	尼崎市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stC46.0	
78	2017/12/27	85歳	女	京都市	<i>S. pyogenes</i>	A	T-UT	emm11.0	speB, speC
79	2017/12/27	42歳	男	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	T12	emm12.0	speB
80	2017/12/31	57歳	男	大阪市	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G		stG485.0	

